

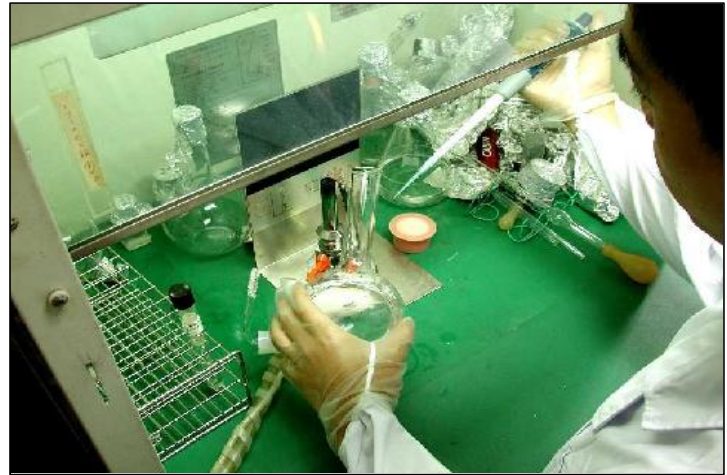
AGP試験

(藻類生産力試験)

AGP試験 (Algal Growth Potential) は、目的水域の環境調査の一項目として富栄養化の現状把握、水質予測、水質制御の評価や栄養塩類の検討を目的として行われます。また化学・生物調査の分析結果と比較検討することにより、さらに厚みのある高度な解析が可能となります。

藻類の増殖能力は、栄養塩類の濃度により制限されます。

AGP試験は、試料(目的水域の水)に下記の特定藻類を接種し、最適条件下で藻類を培養し、最大増殖量から試料の持つ藻類生産力(AGP)を調べます。



培養藻類株の接種

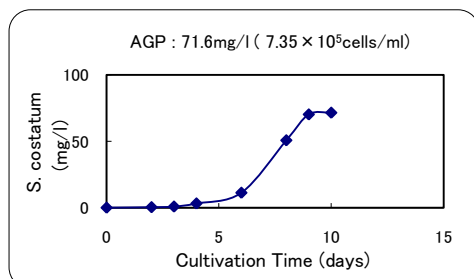
供試藻類

淡水域	藍藻綱	<i>Anabaena</i> <i>Microcystis</i> <i>Phormidium</i>
	黄金色藻綱	<i>Uroglena</i>
	珪藻綱	<i>Cyclotella</i>
	緑藻綱	<i>Selenastrum</i> <i>Scenedesmus</i>
海水域	渦鞭毛藻綱	<i>Heterosigma</i>
	珪藻綱	<i>Skeletonema</i> <i>Cylindrotheca</i>

*海水の有害度判定には、ウニの受精卵によるBioassayがありますので、別紙加刷を参照下さい！



培養条件：20℃ (±2℃)、4000LUX



淡水藍藻類



Microcystis aeruginosa

淡水緑藻類



Selenastrum capricornutum

海産円心目珪藻



Skeletonema costatum

海産羽状目珪藻



Cylindrotheca closterium

Plant Bio co., Ltd.